

天塩日誌.

著者	松浦 竹四郎
発行年	2004-03
URL	http://hdl.handle.net/10114/4915

天鹽日誌

全



東西蝦夷山川
地理取調紀行

天鹽四日誌

多氣志樓蔵板

凡例

一、本誌を編輯するに、

天鹽の地誌を

一、本誌を編輯するに、

一、本誌を編輯するに、

一、本誌を編輯するに、

一、本誌を編輯するに、

一、本誌を編輯するに、

一、本誌を編輯するに、

[illegible]

丁未鹽日誌

[illegible]

小川の清き水、小川の源を流すなり。

廿九日、更替舟ヲシテニクル。此の傳説、開闢の如く土地は、貝壳の

面より土と持運、此の雜穀、野果、此の七品と持運、此の雜穀、

小川の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

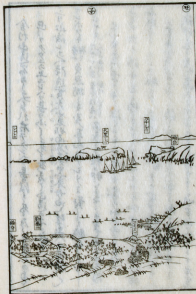
此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、

此の源、此の源の星を思ひ、此の偏の偏の人の苦、此の日、



中野河

東音の

下流の

東音の

振りの

漢

ふり式

二二

一

...

...

...





今、これより、人々を、
 引渡す。此より、
 傳へ、
 人々、
 飛、
 執、
 引、
 帆、



今、これより、人々を、
 引渡す。此より、
 傳へ、
 人々、
 飛、
 執、
 引、
 帆、

至以一馬是一勛崇積中下令禁之民間私種者罔復利東法枉民買
如故尋下令犯者皆斬然不久因軍中病寒不治遂死其禁制處
項詒

頤訓
語錄

東門より西へ又渡ればウエヘツと云ひウケウの方へ来る也(上川)云々
ウエヘツを一日より時を越せば川は船より中へ流るなり時二日夏夜と云ふ
て松原より舟に乗れば甲をよればこそササキと云ふなり

[illegible]

事理甚明達



長城可無盡

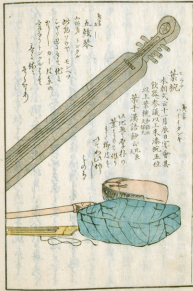
迎產者欲隨

夕雲因我而感

日知錄

青野園

五絃琴
ハイツタン
ハイツタン



五絃琴
ハイツタン
ハイツタン

ハイツタン
ハイツタン

ハイツタン
ハイツタン

五絃琴
ハイツタン
ハイツタン

ハイツタン
ハイツタン

ハイツタン
ハイツタン



五絃琴
ハイツタン
ハイツタン

ハイツタン
ハイツタン

ハイツタン
ハイツタン

咏暖夷陽

傷飲

舟出少清江

活むうのしらね

ふくみふくみはし

おほくすくす

えにふくす



古

夕光志楊主人扇

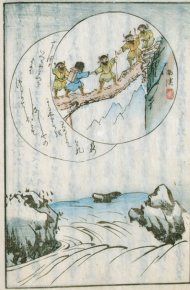
柳菴先生



ミ代宣徳元慶ノ初出羽國ニテ蝦夷ノ為ニ事ニシレ
サレシ中買ノ外ニ鐵鉢軍鉢ナト云物見テウツレロ中木鉢ハ今
蝦夷ニ其遺骸アル也ト記テ見テチカキタル者同ニテ
山邊ニテ是ノ人ト云キテ一落タル水邊ニテ
十九日暮リぬ頭蓋少時ノ内流ニ傾カリ若キナリト云
人々同處ニ同ニテ云キテ亦テ地ニ傾カリテ其ノ方ニテ
の板ノ間ニテ其ノ事ヲ明クテ其ノ穴ノ内ニテ亦テ其ノ方
故ニ何ニテ其ノ事ヲ明クテ其ノ穴ノ内ニテ亦テ其ノ方
故ニ何ニテ其ノ事ヲ明クテ其ノ穴ノ内ニテ亦テ其ノ方

其ノ事ヲ明クテ

女日ム且聲カキテ川ニテ其ノ事ヲ明クテ其ノ穴ノ内ニテ亦テ其ノ方
たノ事ヲ明クテ其ノ穴ノ内ニテ亦テ其ノ方
由フロムンクシナイハフクレヘツ
エウベケシ又ハ大キリテ其ノ事ヲ明クテ其ノ穴ノ内ニテ亦テ其ノ方
是ノクワウシナイハフクレヘツ
ミナマケレナイハフクレヘツ
揚メタル事ヲ明クテ其ノ穴ノ内ニテ亦テ其ノ方
水川ノ事ヲ明クテ其ノ穴ノ内ニテ亦テ其ノ方
女一日喧風疾凍ニテ其ノ事ヲ明クテ其ノ穴ノ内ニテ亦テ其ノ方



されし時、昔、おれ、事、なす、まゝ、北、新、大、殿、を、とて、年、降、二、段、より、是、
新、川、を、よ、り、お、ろ、う、と、人、家、を、計、コウカニ、お、ろ、う、と、人、家、を、計、
お、ろ、う、と、人、家、を、計、お、ろ、う、と、人、家、を、計、
お、ろ、う、と、人、家、を、計、お、ろ、う、と、人、家、を、計、
お、ろ、う、と、人、家、を、計、お、ろ、う、と、人、家、を、計、
お、ろ、う、と、人、家、を、計、お、ろ、う、と、人、家、を、計、
お、ろ、う、と、人、家、を、計、お、ろ、う、と、人、家、を、計、
お、ろ、う、と、人、家、を、計、お、ろ、う、と、人、家、を、計、
お、ろ、う、と、人、家、を、計、お、ろ、う、と、人、家、を、計、
お、ろ、う、と、人、家、を、計、お、ろ、う、と、人、家、を、計、
お、ろ、う、と、人、家、を、計、お、ろ、う、と、人、家、を、計、

探湯武内宿禰勝之（神代卷）今諸氏爭姓紛亂不定即煮湯湯今
以手探湯詐偽若燭真藏者全（神代卷）他諸氏爭姓紛亂不定即煮湯湯今
以手探湯詐偽若燭真藏者全（神代卷）他諸氏爭姓紛亂不定即煮湯湯今
以手探湯詐偽若燭真藏者全（神代卷）他諸氏爭姓紛亂不定即煮湯湯今
以手探湯詐偽若燭真藏者全（神代卷）他諸氏爭姓紛亂不定即煮湯湯今
以手探湯詐偽若燭真藏者全（神代卷）他諸氏爭姓紛亂不定即煮湯湯今
以手探湯詐偽若燭真藏者全（神代卷）他諸氏爭姓紛亂不定即煮湯湯今
以手探湯詐偽若燭真藏者全（神代卷）他諸氏爭姓紛亂不定即煮湯湯今
以手探湯詐偽若燭真藏者全（神代卷）他諸氏爭姓紛亂不定即煮湯湯今
以手探湯詐偽若燭真藏者全（神代卷）他諸氏爭姓紛亂不定即煮湯湯今

瑞麟
佳
中
瑞麟

人間一個來

[illegible]

而彈嗑氣

聞蟬見記見

想余之志一柱一石

月出山村夜露深一椀茅甕自沈沈風簾電夢終難結卧聽
黑簷弄口琴

黑唇弄口魚

[illegible]

昨夜曉來雨今朝一尺漲聞看白鷺下渚揮波光

夜ヲクルマドマナヒヨシユカレナクモ家ノ名ビ

[illegible]

